

冬季講習

【必修領域】「全ての受講者が受講する領域」

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	受講人数
A05	教育の新動向	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等」についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見(特別支援教育に関するものを含む。)」」「子どもの生活の変化をふまえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。	福島 裕敏(教育研究院教育・芸術領域教授) 松本 大(教育研究院教育・芸術領域准教授) 吉中 淳(教育研究院教育・芸術領域教授) 田名場 忍(教育研究院教育・芸術領域教授) 安達 知郎(教育研究院教育・芸術領域講師) 松田 侑子(教育研究院教育・芸術領域講師) 中山 忠政(教育研究院社会科学領域講師) 増田 貴人(教育研究院教育・芸術領域准教授) 天海 丈久(教育研究院教育・芸術領域准教授) 平岡 恭一(教育学部特命教授) 小玉 有子(弘前医療福祉大学保健学部教授)	青森県弘前市	平成29年12月27日	6時間	全教員	100人

【選択必修領域】「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」

No.	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	職務経験等	受講人数
B12	教育課程・学校経営	「学習指導要領の改訂の動向等」および「様々な問題に対する組織的対応の必要性」の事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。	森本 洋介(教育研究院教育・芸術領域講師) 三上 雅生(教育研究院教育・芸術領域教授) 大坪 正一(教育研究院教育・芸術領域教授) 石戸谷 繁(東北女子大学准教授)	青森県弘前市	平成29年12月28日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	特定しない	100人

【選択領域】「受講者が任意に選択して受講する領域」

No.	教科	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C53	社会・地歴・公民・商業	今日の社会と社会科授業	児童・生徒を取り巻く生活環境や社会の状況がめまぐるしく変化する中において、社会科の授業はどのようなべきなのか、今日求められている社会科の役割、授業のあり方について理論的な側面と実践的な側面の両方から検討していく。講習の中では、受講者が抱える授業に関する課題や率直な悩みを取り上げつつ改善の方向性を探っていく。	小堀 史朗(教育研究院教育・芸術領域准教授) 篠塚 明彦(教育研究院教育・芸術領域教授)	青森県弘前市	平成29年12月16日	6時間	教諭	小学校、中学校(社会科)教諭	30人
C59	理科	化学実験－中学校・高等学校を中心に	中学校理科および高等学校化学の新学習指導要領に沿って、新たに加えられたり戻された学習項目を中心に、実験を通して理科の化学分野の指導法を考える。また発展的な実験も行い、化学教材について学習する。具体的には、例えばイオンの実験や、モル概念の実験などを行う。次期学習指導要領で導入される「アクティブ・ラーニング」への活用も考えられ、特別支援教育で注目されている「マイクロスケール実験」について、その概念と具体的な方法について実験を通して考える。	長南 幸安(教育研究院教育・芸術領域教授) 島田 透(教育研究院教育・芸術領域講師)	青森県弘前市	平成30年1月5日	6時間	教諭	特別支援教諭、小学校教諭および中学校・高等学校理科教諭	25人

No.	教科	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C56	理科	ウニの発生観察・微小動物の観察(観察実験)	【ウニの発生観察】この実習では教科書でおなじみのウニの受精・発生を実際に顕微鏡で観察します。「なま」の発生観察を通して、実験手法と発生現象に関する知識の習得を目指します。 【微小動物の観察】この実習では身近な環境からみつける微小な動物を材料に生物多様性の理解を深めます。通学路や学校の敷地内でも採集できるセンチュウ類、ワムシ類、クマムシ類などの採集・観察方法と、体の仕組み、見分け方を学びます。さらに乾燥耐性など、これらの動物の特性を生かした実験の指導方法を習得します。	大高 明史(教育研究院教育・芸術領域教授) 美濃川 拓哉(東北大学大学院生命科学研究所准教授) 藤本 心太(東北大学大学院生命科学研究所特任助教)	青森県青森市	平成29年12月23日	6時間	教諭	小、中、高等学校理科教諭	15人
C62	美術	木彫一道具作りと作品制作一	デジタル化が急速に進む現代、初等・中等の教育現場において「手でものをこつこと」を通して実感を伴う体験的学習はこれから益々重要になってくるのではないのでしょうか。本講習では、木彫小品作品の制作を通して、刃物を扱う授業における児童・生徒への的確な指導を安全面も含めて考えていきます。また、道具について、特に刃物研ぎを体験し、切れる刃物とはどのような形かなども学びます。	塚本 悦雄(教育研究院教育・芸術領域教授)	青森県弘前市	平成30年1月9日～平成30年1月10日	12時間	教諭	小学校教諭(図画工作)中学校・高校教諭(美術)	10人
C57	看護	放射線とリスクコミュニケーション	本講では放射線災害を想定し、地域住民や学校生徒・保護者に対して説明する機会を持つ教諭を対象として、放射線リスクコミュニケーションの基本的知識を教授し、事例をもとにした演習を通し放射線リスクコミュニケーションの必要性を以下の内容で意識づける。 1. 講義「放射線の人体に対する影響と防護について」(對馬) 2. 講義「放射線リスクコミュニケーションについて」(則包) 3. 演習「リスクコミュニケーションに関するシミュレーション」(則包、北宮、川添、對馬)	則包 和也(教育研究院保健科学領域講師) 北宮 千秋(教育研究院保健科学領域教授) 川添 郁夫(教育研究院保健科学領域講師) 對馬 恵(教育研究院保健科学領域講師)	青森県弘前市	平成29年12月25日	6時間	教諭 養護教諭	幼稚園教諭、小・中・高教諭、養護教諭、特別支援学校教諭	30人
C54	技術・工業	技術教育における問題解決的な学習	中学校技術科及び高校工業科において、技術的な工夫創造能力を高める問題解決的な学習指導の考え方と方法について、プログラムによる計測制御学習の実践事例をもとに講義・演習を行う。具体的には問題解決的な学習の理論と技術的問題解決を促すための生徒へのアプローチや題材設定の在り方についての講義を基礎に、実践事例の検討と課題実習を行う。また、基礎理論と課題実習の体験を踏まえ、受講者自身の実践を振り返り、講習の成果と課題をまとめ、発表する。	上之園 哲也(教育研究院教育・芸術領域准教授)	青森県弘前市	平成29年12月16日	6時間	教諭	中学校技術科教諭・高校工業科教諭	8人
C58	農業	作物・植物の体の構造と機能との関係	作物や植物に認められる様々な生命現象の多くは、体の様々な形態・構造と機能との関わりの中で発現する。本講義では、作物の成長や収穫対象物の成立、および、植物の環境適応の仕組みについて理解を深めるため、作物・植物における形態・構造と機能との関係性を中心とした解説を電子顕微鏡観察などを交えて行う。	川崎 通夫(教育研究院農学・生命科学領域准教授)	青森県弘前市	平成29年12月25日	6時間	教諭	小学校教諭、中学校教諭(理科)、高等学校教諭(農業・理科)	8人
C55	英語	第二言語習得研究と英語科教育	ヒトはどのようにして母語以外の言語を習得・学習するのか、そのメカニズムの解明を目指す第二言語習得研究の諸理論及びそこで得られた知見を基に英語科授業における教授・学習行為を見直し、我が国における学校英語科教育のあり方を再検討する。	野呂 徳治(教育研究院教育・芸術領域教授)	青森県弘前市	平成29年12月17日	6時間	教諭	中学校・高等学校英語科教諭	30人
C61	特別活動	特別活動(中学校・高等学校編)	人のつながりの中で、問題行動を解決し、自ら学びに向かう児童生徒を育てるには、特別活動の再確認が強く求められている。個に焦点が集まりすぎた現状を見直し、スキルやメソッドに頼り過ぎない集団作りを、実践的な演習を入れて考察を深める。学力向上を後押しし、いじめや不登校の起きにくい学級・授業集団、学年・学校集団を育てる四本の柱を軸に展開する。	山科 實(教育学部特任助教、教職キャリア支援コーディネーター)	青森県弘前市	平成30年1月9日	6時間	教諭	中学校・高等学校教諭	50人
C60	特別活動	特別活動(小学校編)	人のつながりの中で、問題行動を解決し、自ら学びに向かう児童生徒を育てるには、特別活動の再確認が強く求められている。個に焦点が集まりすぎた現状を見直し、スキルやメソッドに頼り過ぎない集団作りを、実践的な演習を入れて考察を深める。学力向上を後押しし、いじめや不登校の起きにくい学級・授業集団、学年・学校集団を育てる四本の柱を軸に展開する。	山科 實(教育学部特任助教、教職キャリア支援コーディネーター) 角野 君代(教育学部特任助教、教職キャリア支援コーディネーター)	青森県弘前市	平成30年1月5日	6時間	教諭	小学校教諭	50人